

肺がんの治療

日時 平成26年9月21日(日) 13:30~16:00

場所 倉吉交流プラザ 2階視聴覚ホール

13:30 開会

あいさつ 鳥取県立厚生病院 院長 井藤久雄

13:35 講演

座長:吹野俊介(鳥取県立厚生病院 中央手術センター長)

1 肺がんの薬物治療

演者:山本芳麿(鳥取県立厚生病院 呼吸器内科部長)

2 肺がんの放射線治療

演者:遠藤雅之(鳥取県立厚生病院 放射線科医長)

(休憩)

3 肺がんの外科治療

演者:吹野俊介(鳥取県立厚生病院 中央手術センター長)

(質疑応答)

16:00 閉会

主催 鳥取県立厚生病院

共催 倉吉市教育委員会

後援 鳥取県健康対策協議会 (公社)鳥取県医師会 (公社)鳥取県中部医師会

(一社)鳥取県診療放射線技師会 (一社)鳥取県臨床検査技師会

鳥取県細胞検査士会 (一社)鳥取県薬剤師会 (公社)鳥取県看護協会

倉吉市 三朝町 湯梨浜町 琴浦町 北栄町 (公財)鳥取県保健事業団

(株)新日本海新聞社

1 肺がんの診断と薬物治療

山本 芳麿 (鳥取県立厚生病院 呼吸器内科部長)

【略歴】

1983年 鳥取大学医学部卒業、鳥取大学第三内科入局

1993年 鳥取県立厚生病院内科勤務

2008年 鳥取県立厚生病院内科部長

2009年 現職

【専門分野等】

日本内科学会、日本呼吸器学会、日本臨床腫瘍学会

今や一生のうちに二人に一人は何らかのがんに罹患する様な時代となっております。ですから誰もが、いつぞや何らかのがんになることは、受け入れなくてはなりません。

しかし、避ける事が可能であれば、何とかしたいと思うのが普通です。

欧米の肺がんは90%が喫煙が原因と言われており、日本の肺がんでも約70%が喫煙が原因と考えられています。喫煙は肺がんだけでなく、咽頭がんや消化器系のがんの原因の一つにもなっており、今のところ、禁煙が肺がんにならない為の、一番の近道と言えるでしょう。

肺がんの薬物療法は、最近大きく様変わりをしてきています。その一つが、分子標的治療薬と言われる、がん細胞のみを標的にした副作用が比較的少なく劇的な効果をもたらす事もある様な治療薬が開発されており、今後ますます期待される分野です。

今回は症例をまじえながら紹介致します。



2 肺がんの放射線治療

遠藤 雅之 (鳥取県立厚生病院 放射線科医長)

【略 歴】

2004年 徳島大学医学部卒業 鳥取大学初期研修医

2006年 鳥取大学放射線科入局

2012年 鳥取県立厚生病院放射線科副医長

2014年 現職

【専門分野等】

日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本IVR学会専門医

放射線治療は手術や化学療法とともに、がん治療の三本柱の一つとして重要な役割を果たしています。今回は初めに放射線治療の概論、次に肺がんに対する放射線治療の役割、最後に最新の放射線治療についてわかりやすくお話ししたいと思います。

3 肺がんの外科治療

吹野 俊介 (鳥取県立厚生病院 中央手術センター長)

【略 歴】

1979年 鳥取大学医学部卒業、鳥取大学第二外科入局

2003年 鳥取県立厚生病院外科部長

2010年 現職(中央手術センター長兼外科部長)

【専門分野等】

日本外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会 各指導医・専門医

肺癌の外科治療についてお話しします。

内容は 1. 肺癌の手術

2. 治りやすい肺癌と治りにくい肺癌

3. たばこの害

肺癌は難治性のがんですが、早期肺癌の段階なら切除すれば、ほぼ100%治癒することができます。さらに早期肺癌は肺の切除範囲も縮小することができます。

しかし、早期肺癌は通常の胸部レントゲン写真には写らないことが多いです。何かの機会があれば胸部CTを一度受けておくのも肺癌の早期発見には良いことです。

また2cm以下の肺癌を小型肺癌といい、一部は早期肺癌ですが、肺癌の大きさだけで早期肺癌とは言えません。この小型肺癌は、早期肺癌とは異なった性質を持つタイプのものであり、10%以上は転移を起こしています。

喫煙者に多いタイプの肺癌です。

また喫煙経験のある人は、禁煙してから10年や20年経ってからも肺癌は発生しやすいので、機会を見つけて、進んで胸部CTの検査を受けることをお勧めします。

現在も喫煙している人または禁煙10年以内の人は、積極的に胸部CT検査を必ず受けてください。

厚生病院は鳥取県中部地区の肺癌の診療を一手に引き受けています。

安心して受診してください。

